

A background graphic featuring a globe of the Earth with several curved lines and arrows orbiting it, suggesting global expansion or technology. The globe is centered in the upper half of the slide.

表面処理技術のさらなるグローバル展開をめざして

2007年3月期決算説明会資料

荏原ユーザライト株式会社

<http://www.eu.ebara.com/>

07/3月期 決算の概要

国内

海外

エレクトロニクス 産業

国内のPWB業界の活況を
背景に売上増加
携帯電話・ゲーム機が
牽引

年度後半における、台湾の
減速
中国でのPWB関連の売上
増加

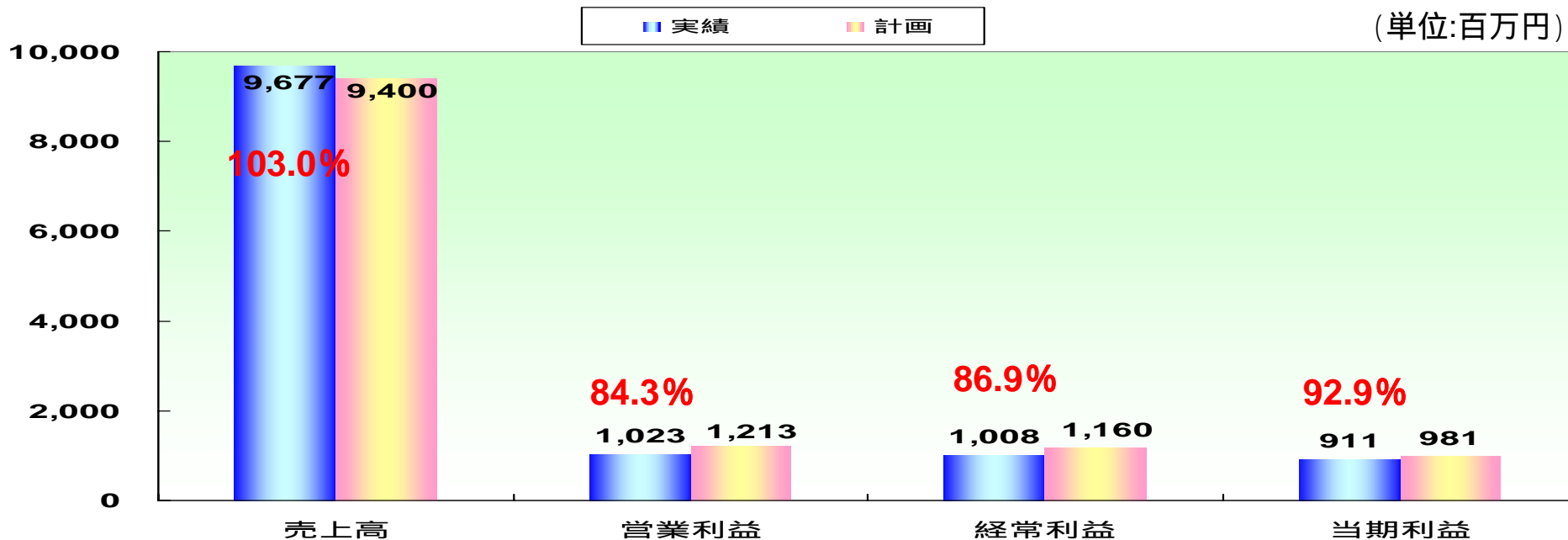
自動車産業

日系自動車メーカーの世界
シェア拡大に伴い、安定的に
成長
国内需要は横這い

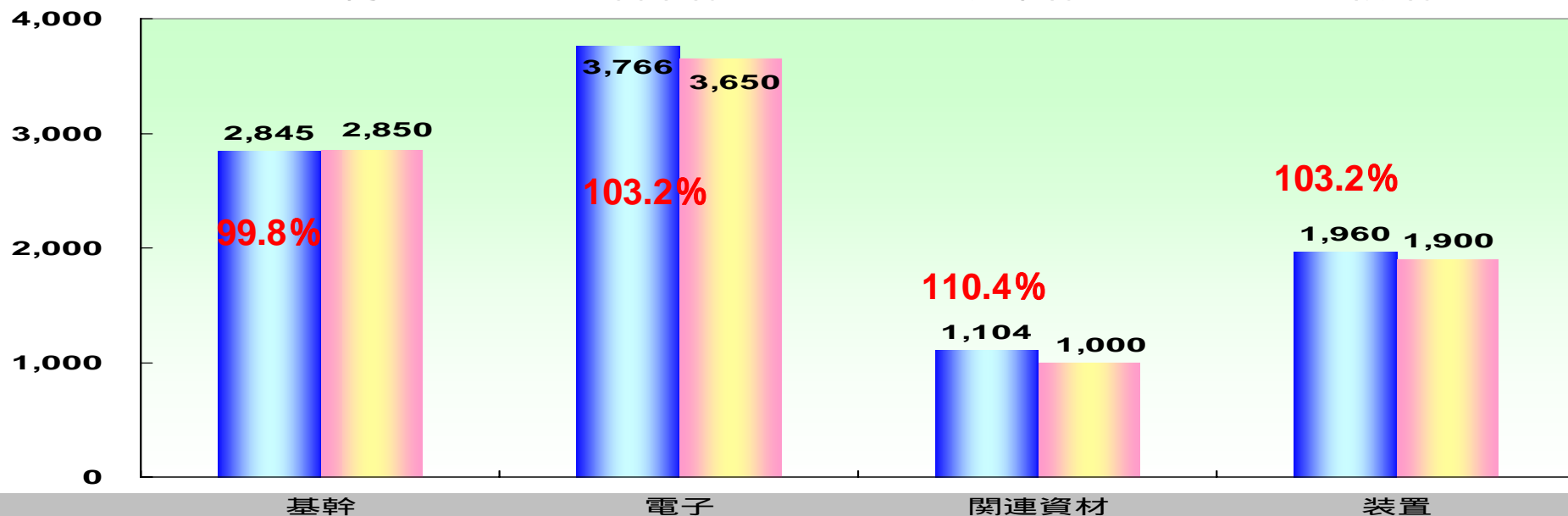
中国での生産台数の増加
インド市場の発展が顕著に

07/3月期 予算達成状況

売上利益
目標達成状況



セグメント別
売上高目標達成状況



07/3月期の概況(連結)

(単位:百万円)

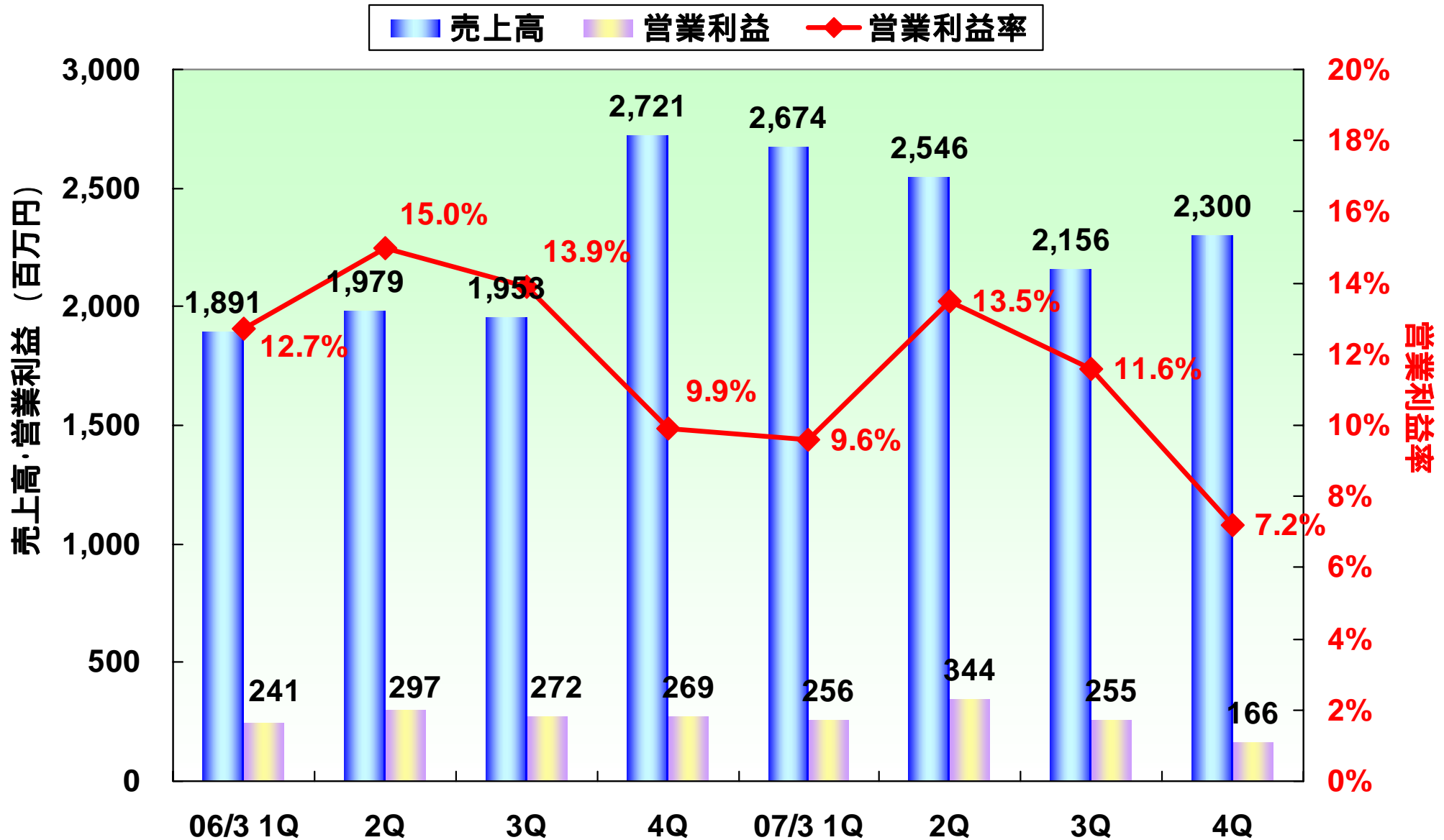
	06/3月期 4Q(参考)	07/3月期 4Q	対前年比 増減(%)	06/3月期 期末(参考)	07/3月期 期末期	対前年比 増減(%)
売上高	2,721	2,300	15.5	8,546	9,677	13.2
売上総利益	1,118	1,063	4.9	4,029	4,496	11.6
販管費	848	896	5.7	2,949	3,472	17.7
営業利益	269	166	38.3	1,080	1,023	5.3
経常利益	247	148	40.1	1,032	1,008	2.3
税引前利益	248	16	106	1,030	1,545	50.1
当期利益	129	22	82.9	592	911	53.7
総資産経常 利益率				12.8%	10.6%	

対前年同期比

売上高

- 基幹分野 (自動車部品向け等) 薬品 181百万円増加 (6.8%)
- 電子分野 (プリント配線板向け等) 薬品 564百万円増加 (17.6%)
- 海外向け 376百万円増加 (17.2%)

売上高・営業利益・営業利益率の推移

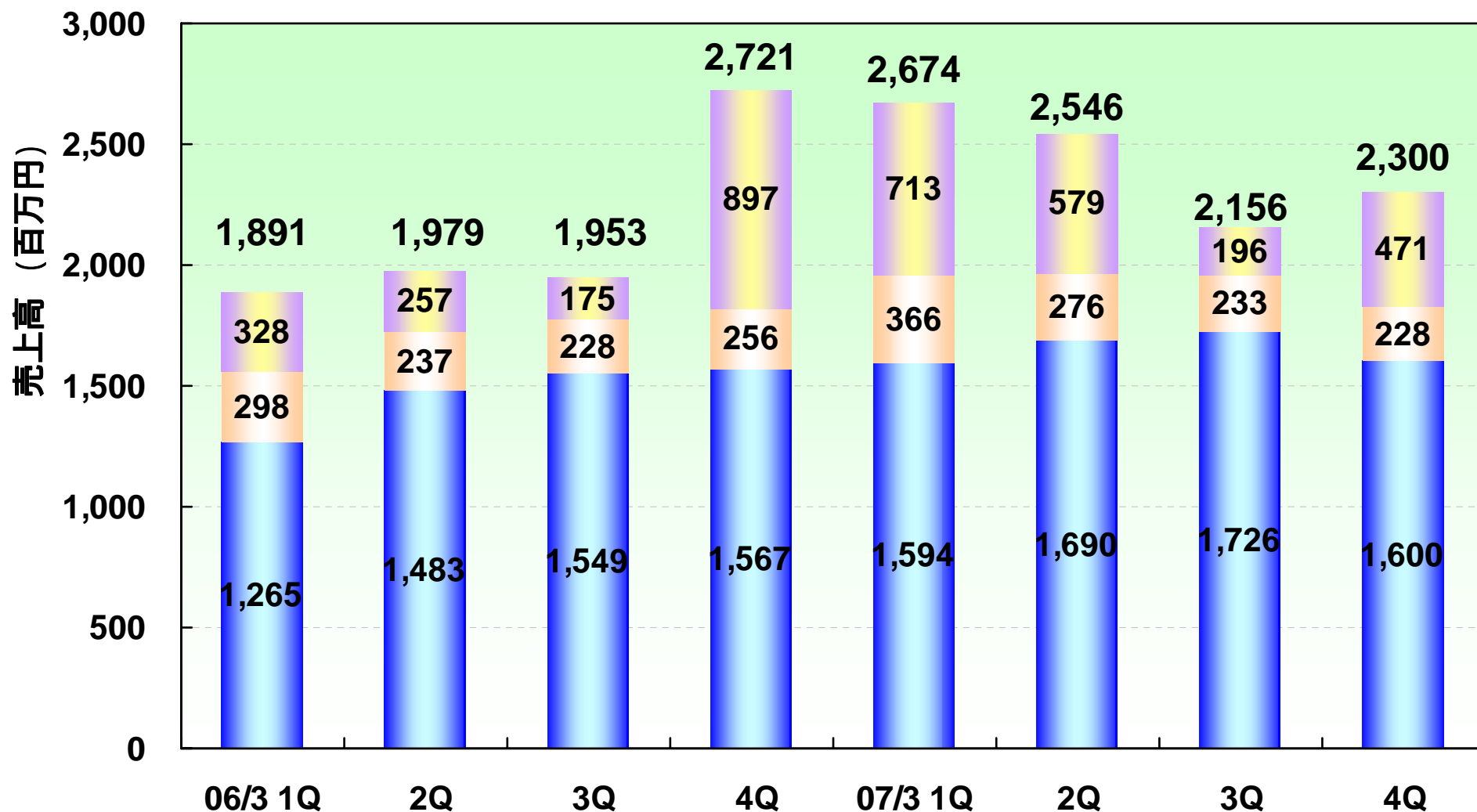


セグメント別売上高の推移(連結)

■ 薬品事業

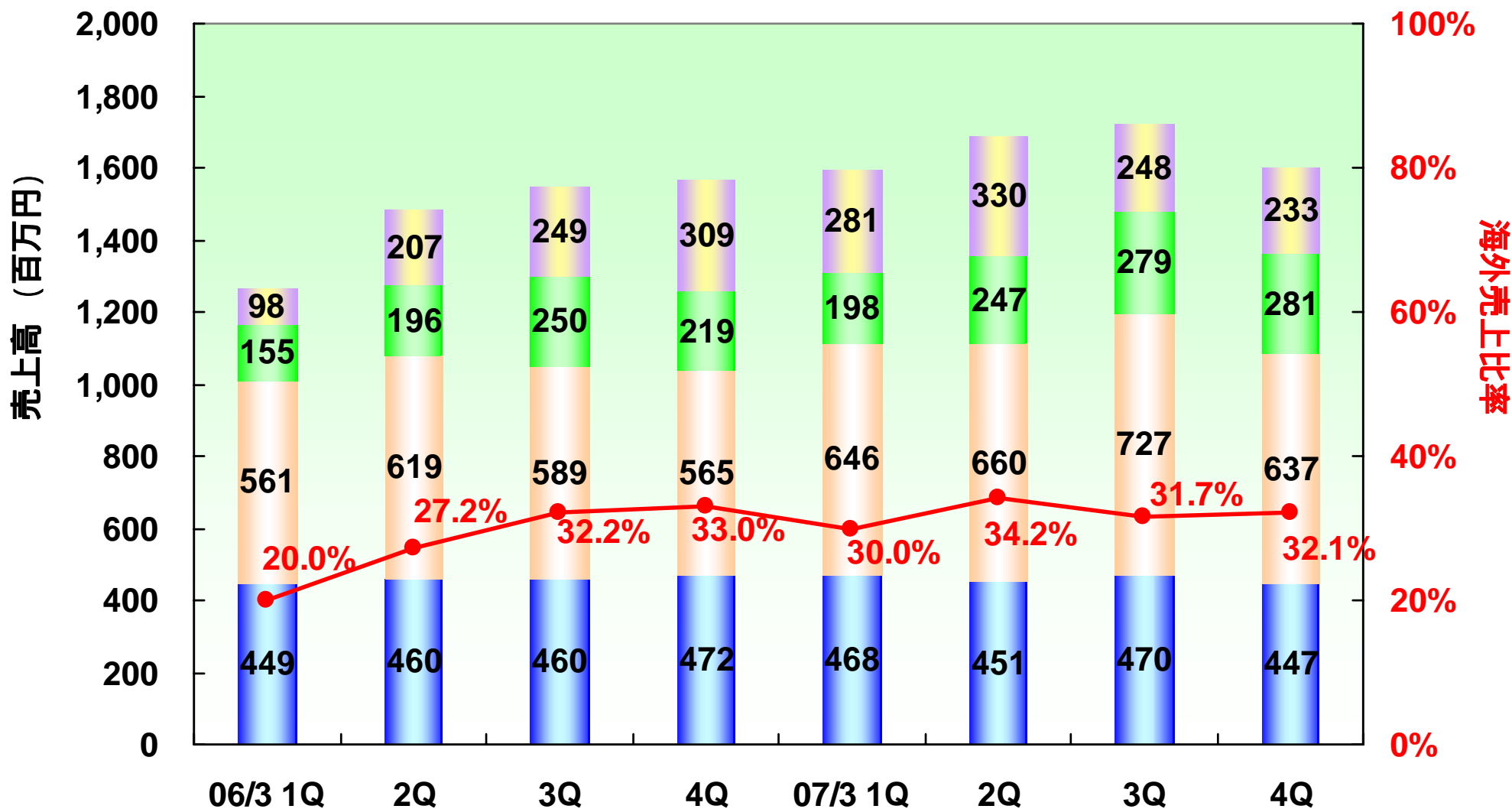
■ 関連資材

■ 装置事業

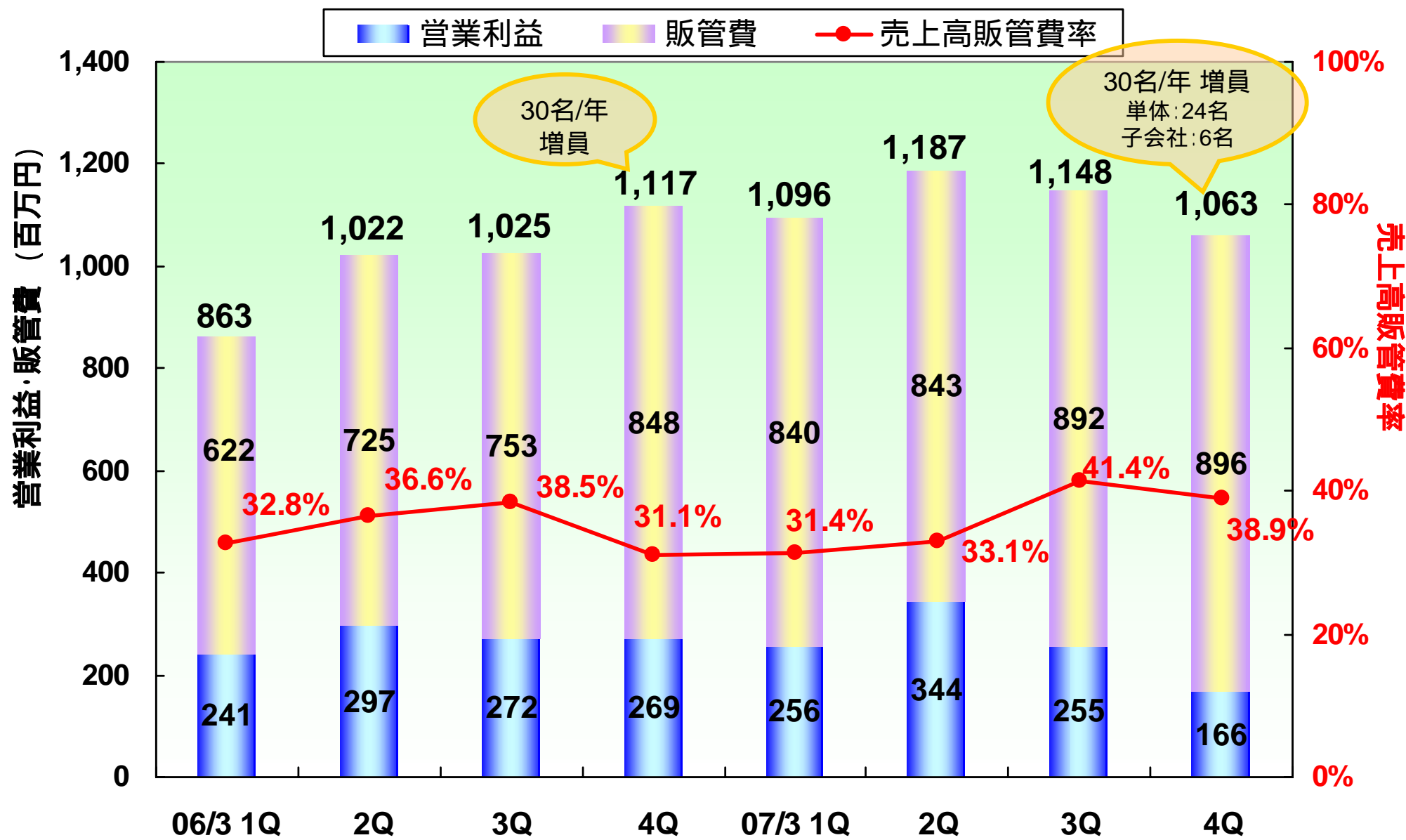


国内・海外売上高推移(薬品事業)

■ 国内基幹
 ■ 国内電子
 ■ 海外基幹
 ■ 海外電子
 ● 海外売上率



営業利益及び販管費の推移



中期経営計画

08/3月期 ~ 10/3月期

世界を舞台に展開する表面処理総合メーカーへ

市場の開拓

研究開発



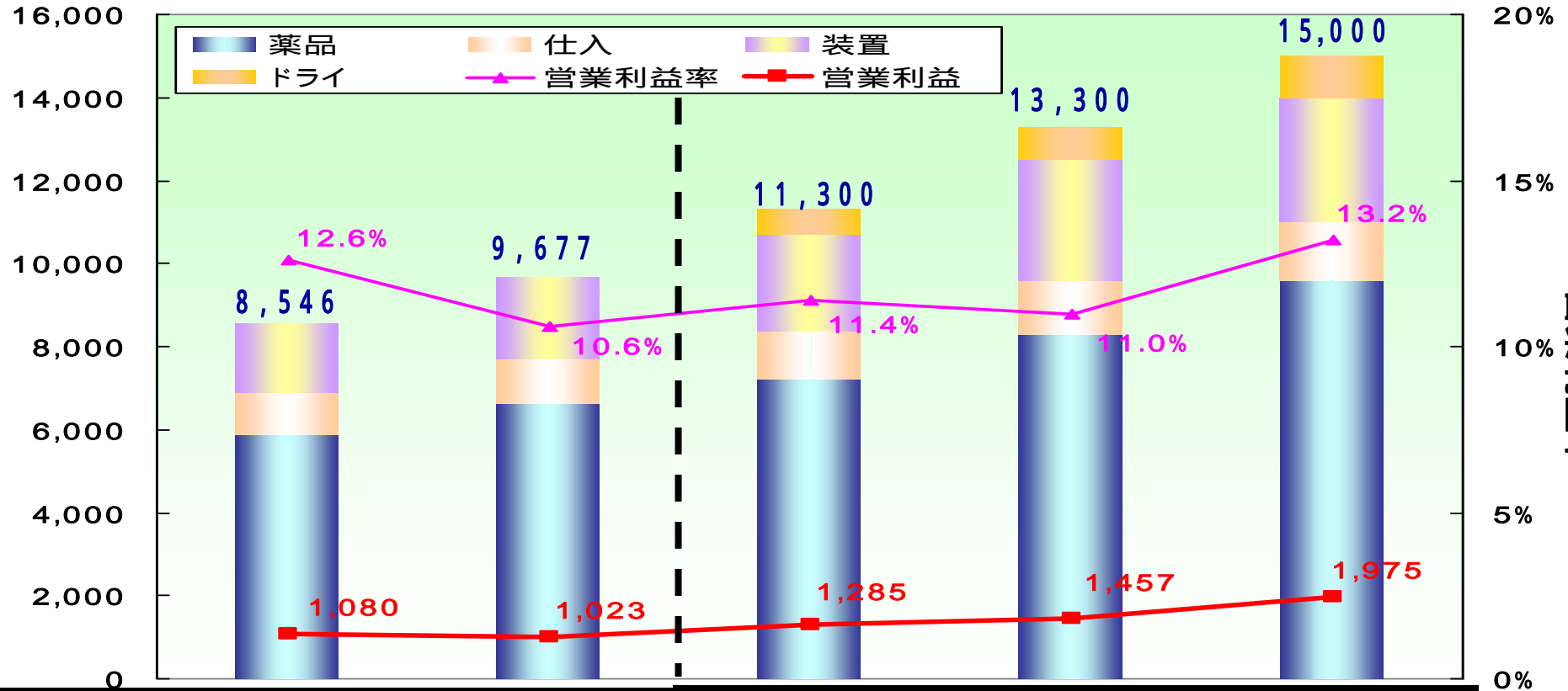
2010年3月期目標数値

売上高・・・150億円

営業利益率・・・10%超

中期経営計画

売上高・営業利益 (百万円)



	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3
薬品	5,866	6,612	7,210	8,300	9,600
仕入	1,020	1,104	1,170	1,310	1,400
装置	1,659	1,960	2,320	2,890	3,000
ドライ	-	-	600	800	1,000

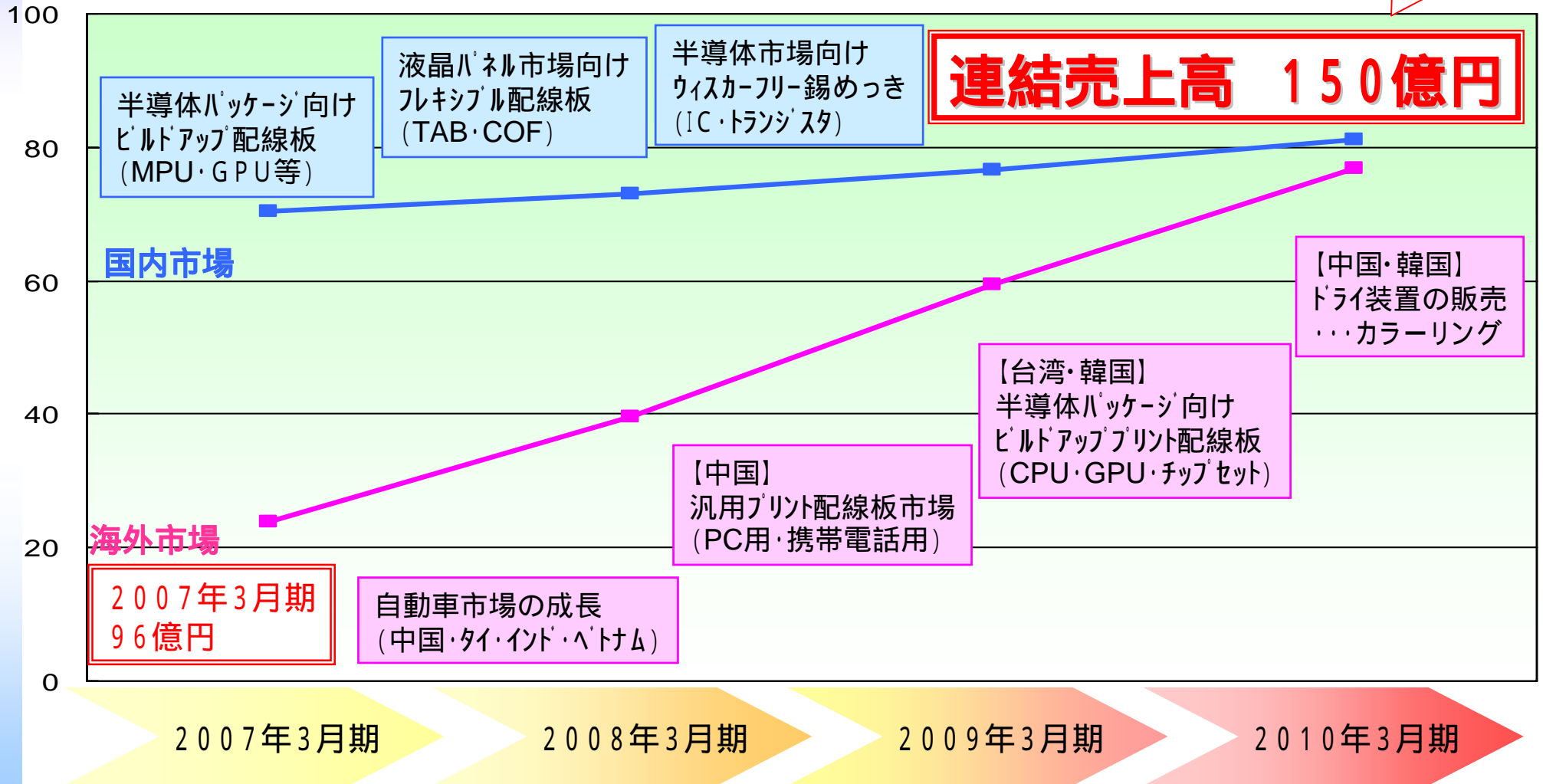
営業利益率

日本・海外成長イメージ

海外拠点網の整備
マーケティング・市場調査の拡充

'07.3期比
54.7%UP

【単位:億円】



基幹分野・電子分野を両輪に、安定成長を

薬品関連資材事業 …… 成長が著しい海外への積極展開

基幹分野

- ▶ 日系自動車メーカーの海外戦略の動向把握
- ▶ ASEAN地域、インド、中国など次の市場への展開

電子分野

- ▶ 台湾現地企業へのアプローチ（世界の半導体パッケージ工場）
- ▶ 日系企業の高密度基板へ（多層板・ビルドアップ基板・フレキシブル基板）
- ▶ 中国量産工場の攻略（両面板、多層板）

装置事業 …… 海外現地生産をすすめ、原価低減を図る

- ▶ 日系自動車メーカーの海外での設備投資動向の把握
- ▶ 中国市場に対し、現地生産化の体制の構築
- ▶ PWBメーカーへ薬品と装置の総合提案を強化、ハイスペック対応へ

独創的・スピーディな研究開発

薬品関連資材事業 …… 地球環境・作業環境への配慮、最先端技術の開発

- 基幹分野
 - ▶ 開発テーマの厳選・リソースの集中により、早期開発へ
 - ▶ 液管理が容易な薬品のラインアップの強化(アジアへの生産移行)
- 電子分野
 - ▶ 顧客ニーズの先取り……速い技術革新への対応
 - ▶ 高密度・微細化要求への対応

装置事業 …… 乾式(ドライ)めっき装置の販売、新たな収益源に

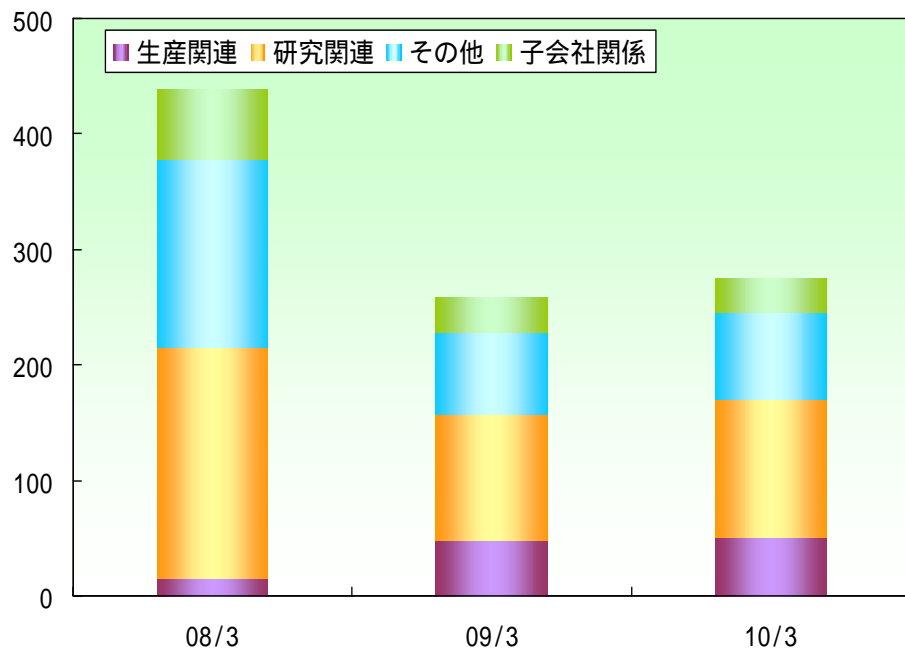
- ▶ ドライめっき紹介による、新たな顧客の発掘、ウェットめっきとの相乗効果
- ▶ 「めっき液、めっき方法、装置」の連携による総合サポートの強化
= ハイスペックへの対応

成長に応じた、積極的な設備投資

- 生産設備の強化 …… 海外現地生産の拡大
- 分析機器の拡充 …… 開発・解析の新化

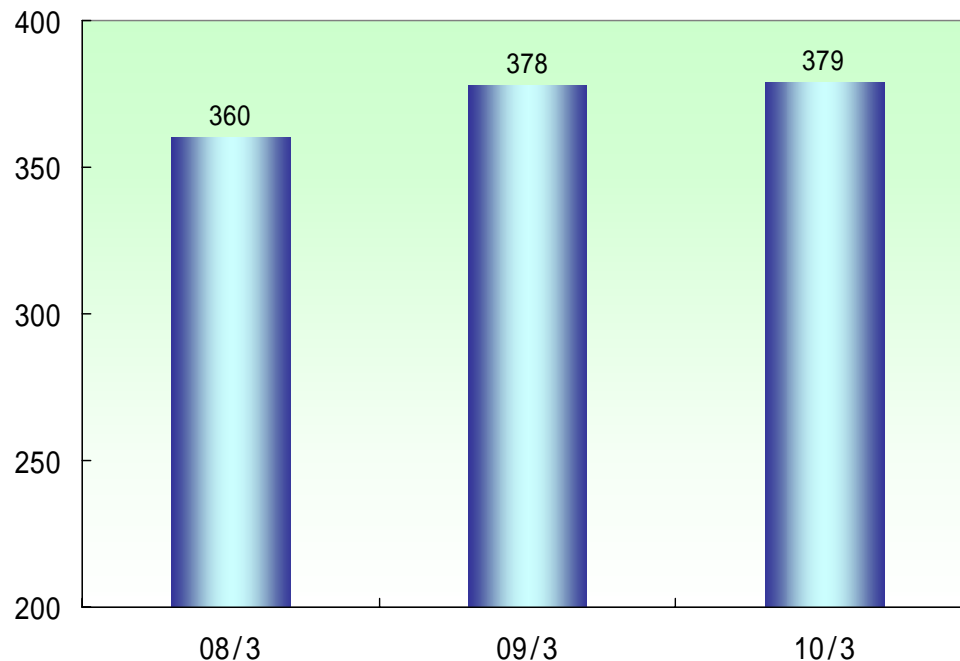
単位:百万円

設備投資予算



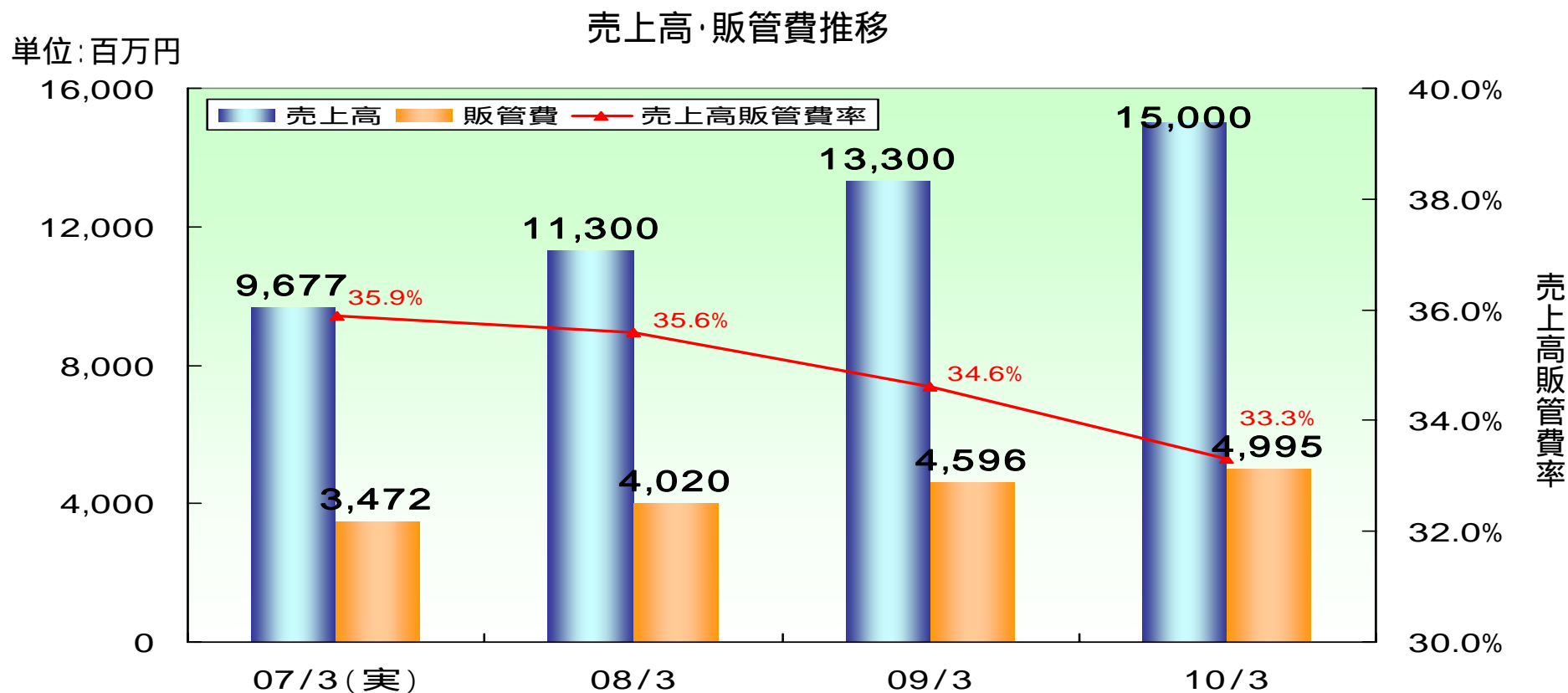
単位:百万円

減価償却費推移



成長に必要な人材の確保

- 海外営業強化・新市場の開拓
- 開発要員の定期的な採用～技術の継承



08/3月期事業計画(連結)

(百万円)	07/3月期	08/3月期 計画		対前年比(%)
			対売上比(%)	
売上高	9,677	11,300	100.0	16.8
薬品	6,612	7,210	63.8	9.0
仕入	1,104	1,170	10.4	6.0
装置	1,960	2,320	20.5	18.3
ドライ	0	600	5.3	-
売上総利益	4,496	5,306	46.9	18.0
販管費	3,472	4,020	35.6	15.8
営業利益	1,023	1,285	11.4	25.6
経常利益	1,008	1,277	11.3	26.6
当期純利益	911	872	7.7	4.2

【参考】セグメント別売上計画(単体)

単位:百万円(前年比)

薬品関連資材事業	基幹分野向け薬品	2,639 (1.1%増加)
	電子分野向け薬品	4,191 (11.3%増加)

業績に応じ、弾力的かつ安定的な配当を維持

配当方針

中期経営計画の達成度

自己資本の充実

配当性向の向上

30%を目指す

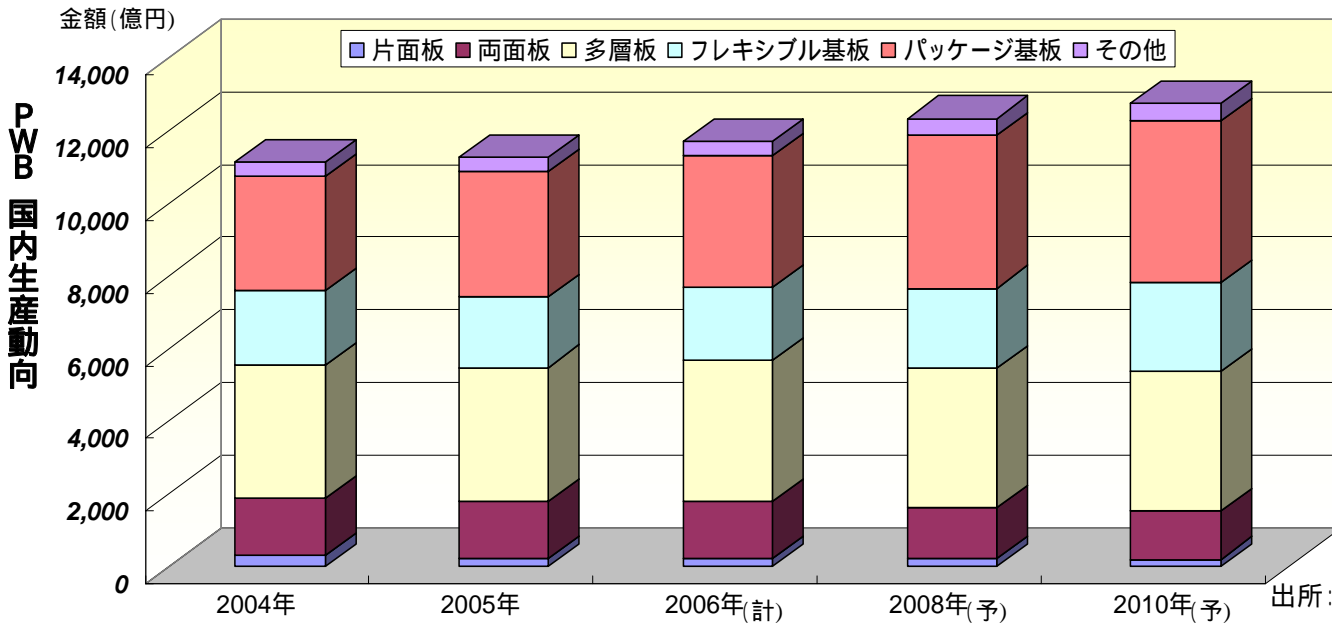
2008年3月期

中間・期末配当計画

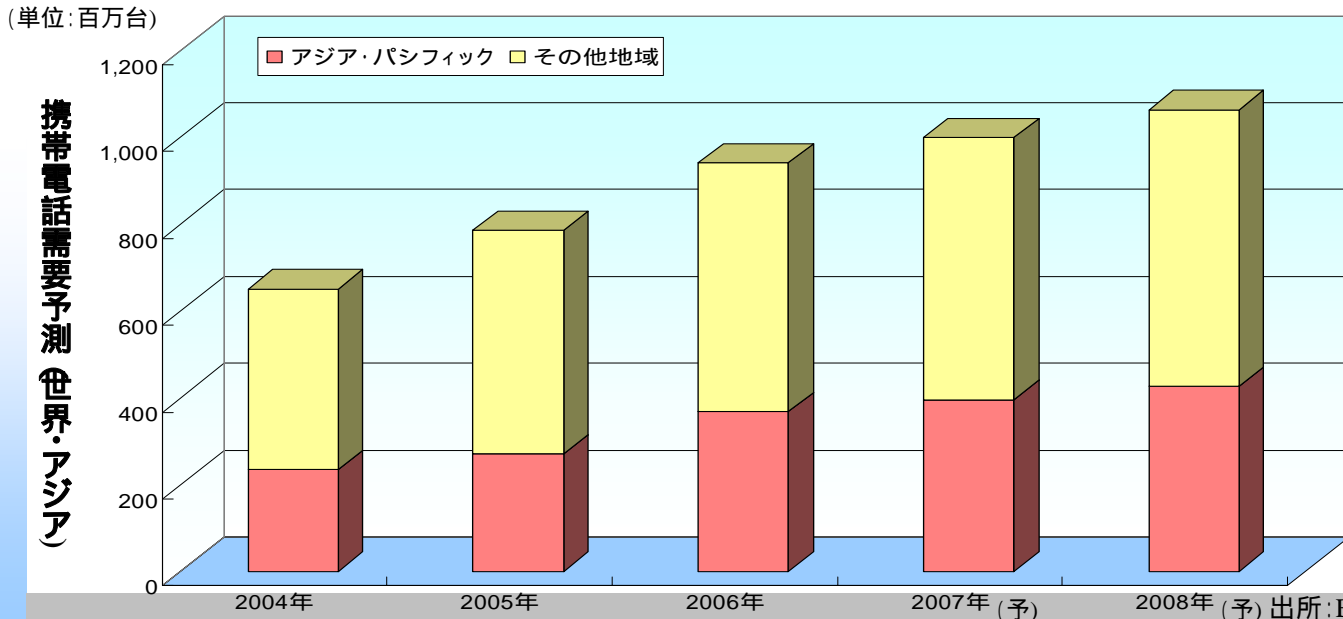
	1株あたり配当金		
	中間	期末	年間
今期計画	30円	30円	60円
2007年3月期 (前期実績)	15円	15円 10円*	40円

*東京証券取引所市場第一部指定 記念配当

【参考】PWB生産動向及び需要



国内では、最先端技術品を中心とする半導体パッケージ基板、8層を超える多層板やビルドアップ基板が伸びる見通し

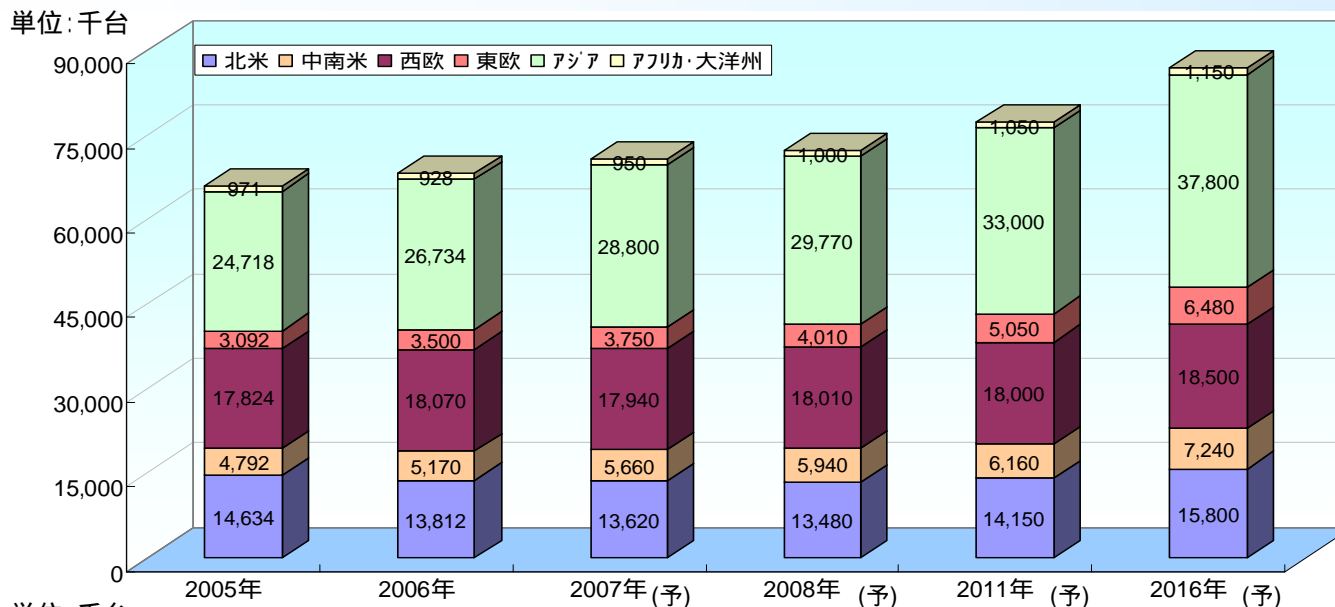


日本ではすでに成熟市場である携帯電話は、中国・インドを中心とするアジア・パシフィック地域での需要が見込まれる。

**【2008年 世界需要】
10億台突破の見通し**

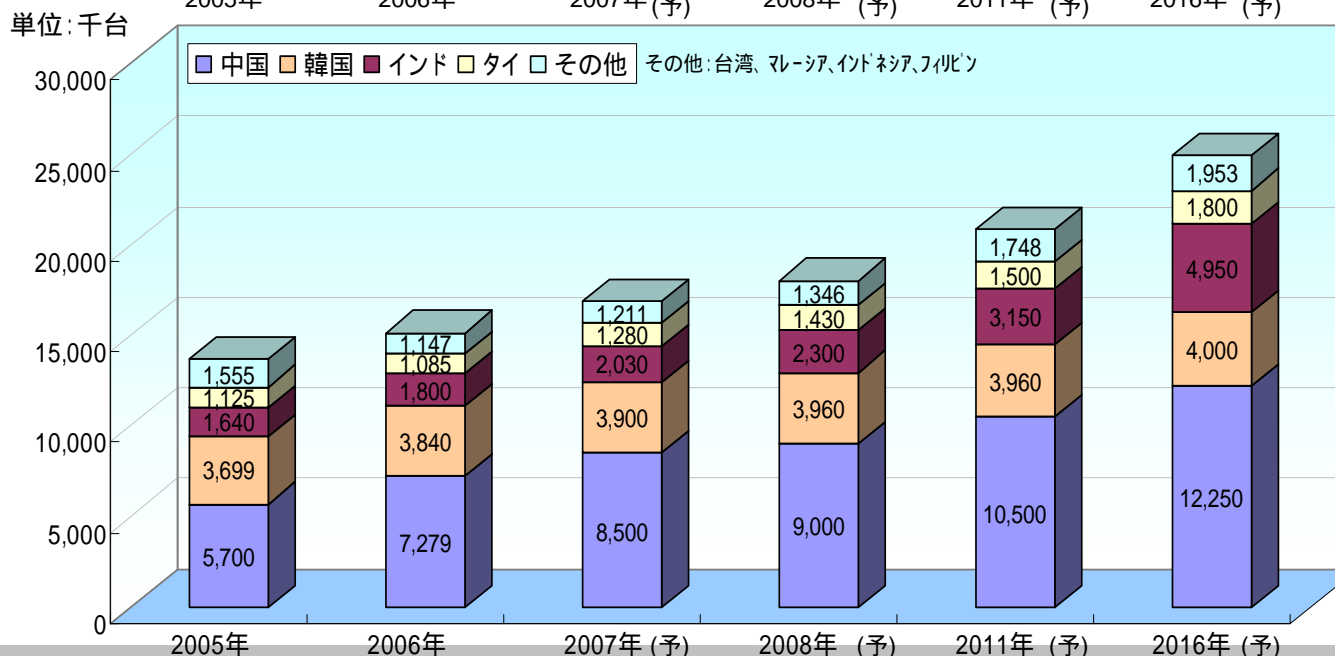
【参考】世界の自動車生産予測 ~ 2016年

世界地域別生産台数推移



【世界全体予測】
台数ベースではアジアの存在が大きくなる。数字的には小さいが、中南米・東欧でも生産が増える見通し。

アジア地域別生産台数

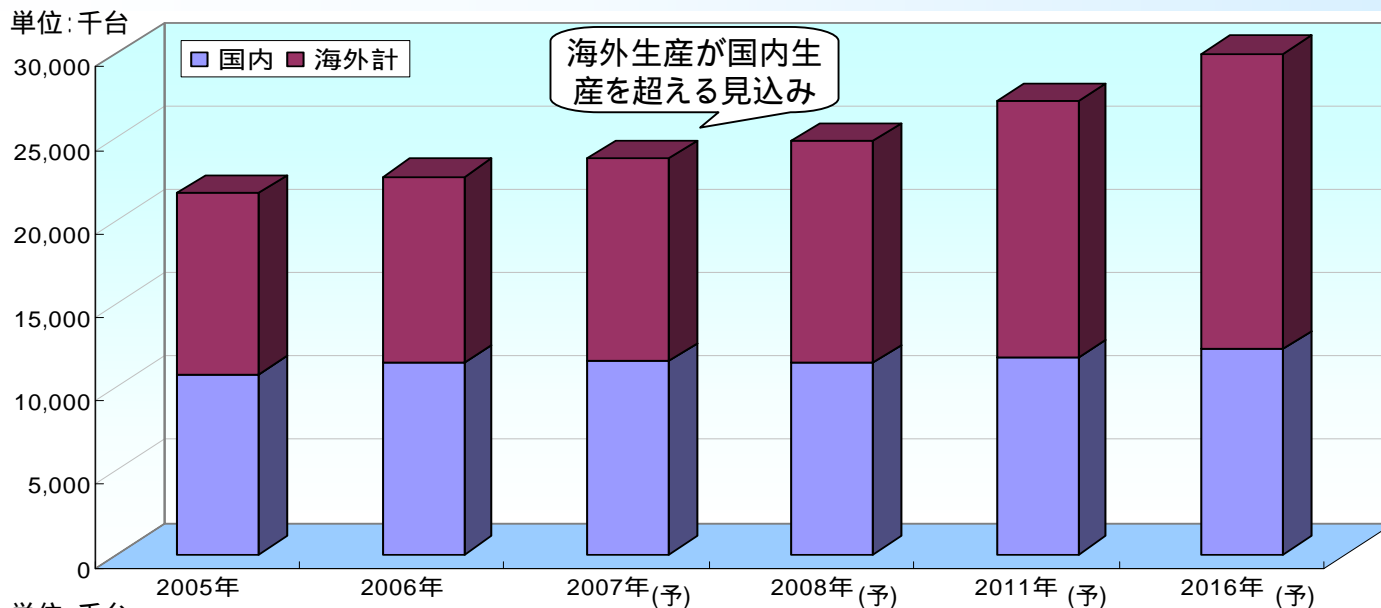


【アジア地域内】
中国の生産台数は変わらず大きい。しかし、インドでは'07比2.5倍と生産が大きく伸びると予測。

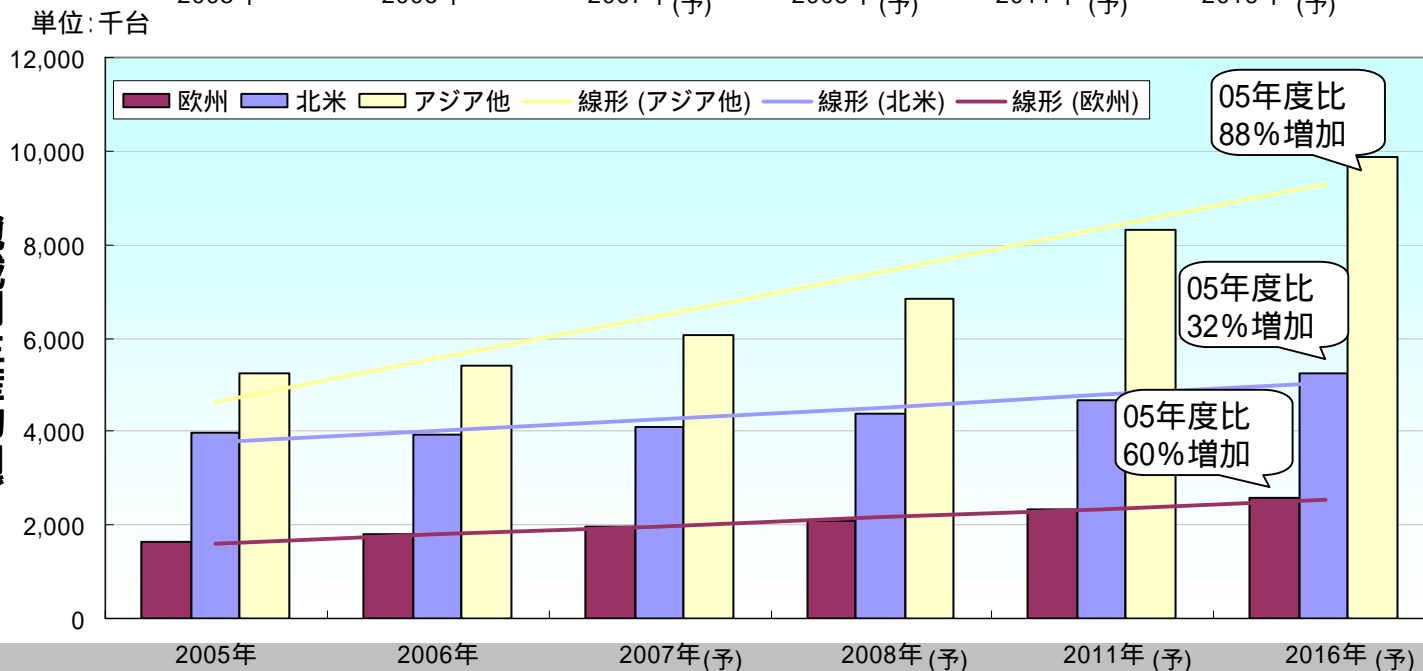
出所: (株)アイアールシー「世界自動車産業の生産・販売予測調査2007年度版」

【参考】日系自動車メーカー海外生産動向

国内・海外生産動向



地域別生産動向

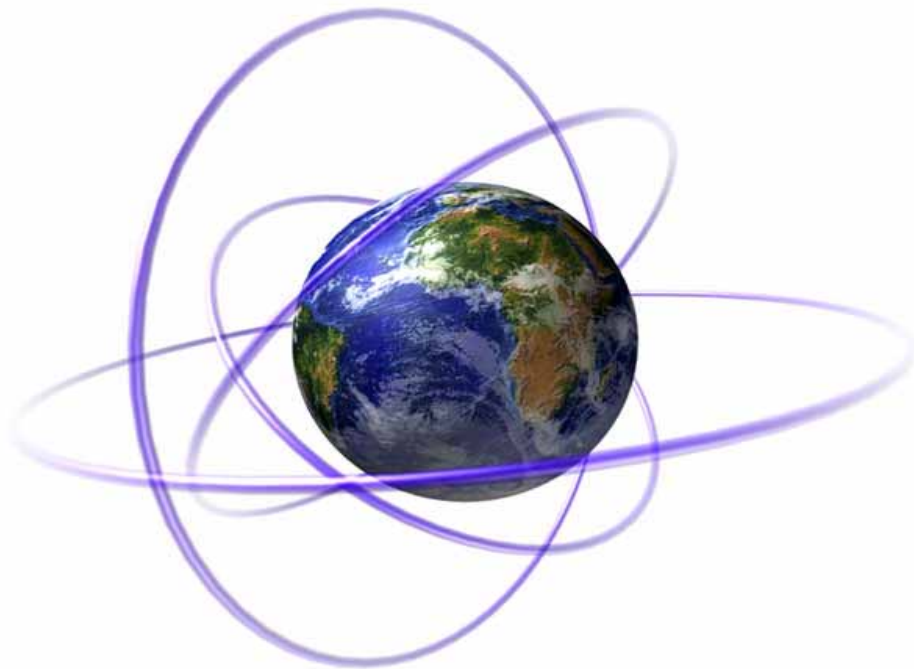


【日系自動車メーカー】
海外生産が国内生産を上回る見通し

対象地域: アジア地域
なかでも、中国・インドが
中心

日系メーカーの進出に
遅れないよう、
営業拠点・フォロー
体制を整備

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ
のご案内

<http://www.eu.ebara.com/>